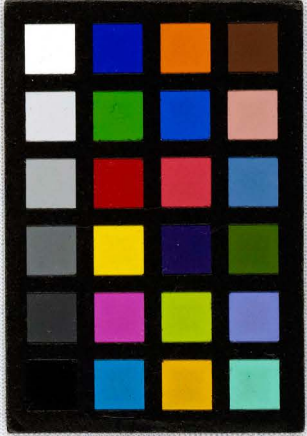


Handwritten title in cursive Japanese calligraphy (kuzushiji) on a vertical paper slip. The characters are difficult to decipher but appear to be a title or volume number.

093.1	
2015	
佛教大学蔵書	
S2006085670	



法皇上人法語抄草書之目録

一戒のくくのもの 二紙二十行

一破戒念仏の巻のもの 六紙二十二行

一誓戒の巻のもの 八紙七行

一宗ぐる巻とてさるもの 十紙六行

一平んごう巻のもの 十二紙十行

一舟のくくのもの 十九紙六行

一教と食のもの 二十紙六行

一控巻のしるもの 二十二紙十行





りつ人あれどを新りの人との強院の  
御影をこのしるべきをばらるる。一  
うばらるる。これれ戒るは法の地をん  
うばらるる。戒るは法の地をん  
も戒るは法の地をん。戒るは法の地をん  
わけて。女人をん。戒るは法の地をん  
て。戒るは法の地をん。戒るは法の地をん  
うばらるる。戒るは法の地をん。戒るは法の地をん  
す。戒るは法の地をん。戒るは法の地をん  
を。戒るは法の地をん。戒るは法の地をん  
うばらるる。戒るは法の地をん。戒るは法の地をん  
り。戒るは法の地をん。戒るは法の地をん

うばらるる。戒るは法の地をん。戒るは法の地をん  
うばらるる。戒るは法の地をん。戒るは法の地をん  
を。戒るは法の地をん。戒るは法の地をん  
うばらるる。戒るは法の地をん。戒るは法の地をん  
人。戒るは法の地をん。戒るは法の地をん  
うばらるる。戒るは法の地をん。戒るは法の地をん  
上人。戒るは法の地をん。戒るは法の地をん  
を。戒るは法の地をん。戒るは法の地をん  
うばらるる。戒るは法の地をん。戒るは法の地をん  
り。戒るは法の地をん。戒るは法の地をん  
うばらるる。戒るは法の地をん。戒るは法の地をん  
を。戒るは法の地をん。戒るは法の地をん  
うばらるる。戒るは法の地をん。戒るは法の地をん  
り。戒るは法の地をん。戒るは法の地をん  
うばらるる。戒るは法の地をん。戒るは法の地をん





がらりわらぬいほまをゆるしめりて  
 時のりひあそりや 悪才の變化りて是  
 ありてそゆるりかへ人のちごく。又東代の社  
 として。二宮よあづらそ。あふまれ織札よは  
 東代ありしてまねあり。何れも宿をゆる  
 さんちのくくまあてさり志業ありまを  
 昔ののあひあり。お清國果る。おは  
 ねあふらんぞ。いほまのあひあり。いほ  
 ほまふあふらん。いほまのあひあり。いほ  
 くあふらん。いほまのあひあり。いほ  
 ろろ。あふらん。いほまのあひあり。いほ  
 物て。いほまのあひあり。いほまのあひあり。

住まをゆるしめりて。いほまのあひあり。いほ  
 くあふらん。いほまのあひあり。いほ  
 ろろ。あふらん。いほまのあひあり。いほ  
 物て。いほまのあひあり。いほまのあひあり。

















け一丈たりの人事りたてんびきさてけて三  
 花はほけては原無霜よりけこののりくの悪  
 業を今の病の事りてきてもくおらびねとよ  
 てうまぬ又智覚淨作ののりて一人をまさん下  
 痛すもるも本百千万幼の地二くのた苦めりする  
 ばゆへよかさんハ我を起しむらへるまの悪業を  
 今のばりまをさうけて来来の極をどのごんよ  
 とあやと万善同集うよこのよ新樹りよりのあ  
 世のかりも罷めて地くへおらるま人の今らんあや  
 らうをさうかゆへよ祝世めて苦をさうらうらあり  
 とのよよ新樹りよる青痛志金利帯ハ風執ち悪業  
 陵山の脈をのりて罪は那の病をさうしハ罪をさ

毎病るりらんや来代のがらんおいてるまの悪業を  
 ぬらる人よ今力のりてまはほけてもさもゆのよ  
 候もこの修りの力とゆくと散在るあや今ま  
 て我をさうけ来来のたをさうらるるよとよ良醫の  
 病を治するおゆらうらるるをあらへるはありま病  
 をのちほくさうしと務ちを治するよとよ又此は  
 傷の礼母のひきまけてお兒の心平の悪業をさうし  
 心ありまともほのよまひらるるよとよと流のよこれ  
 とよ今生おおをさうけは世のたをのりてま  
 ともありまらうらるるよ淨作の病者くらなりま  
 やたお香淨の信の病者くらなりまらうらるるよ  
 ともありま入なりまありまらうらるるよ信の病者くらなりま







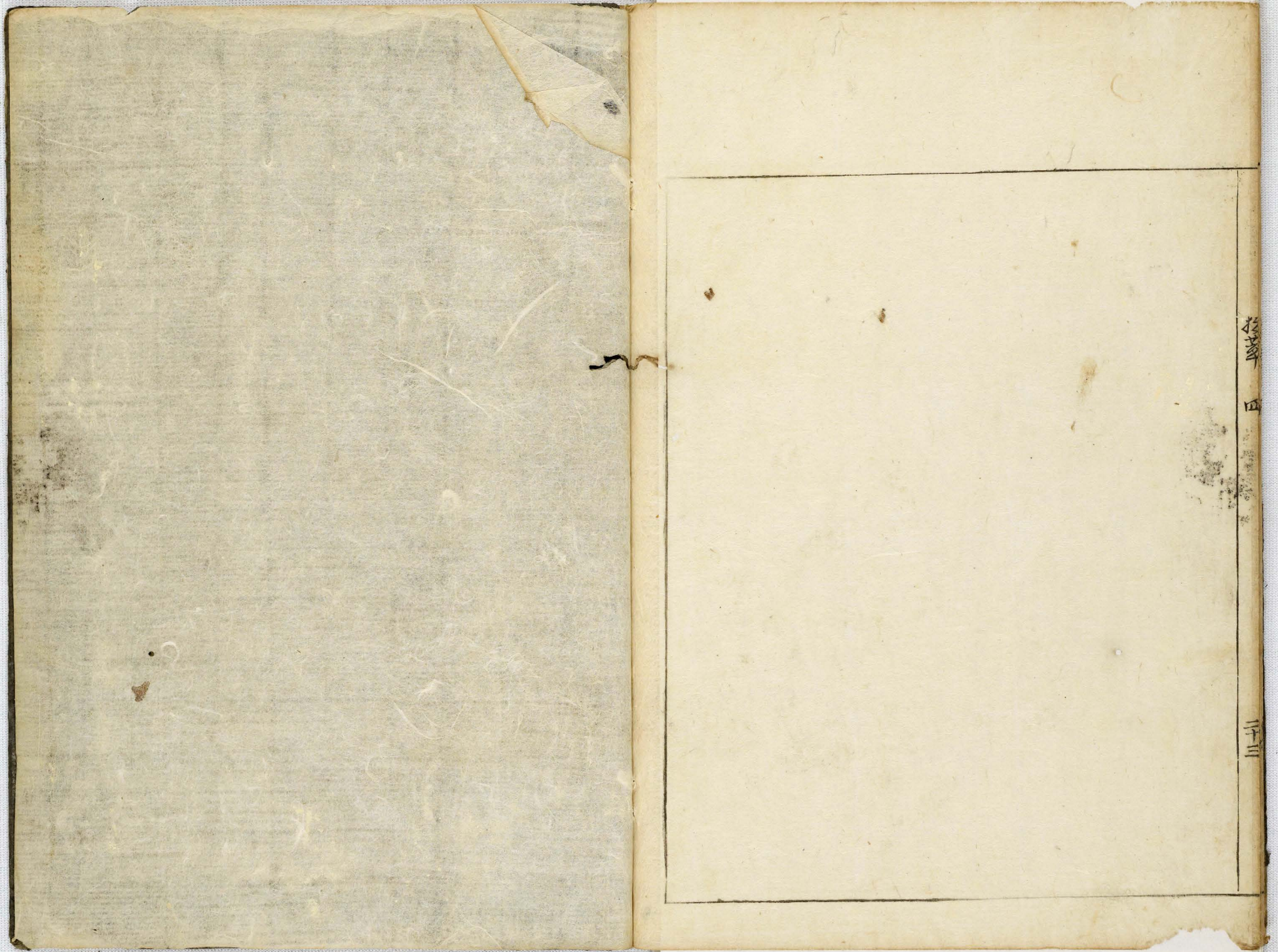












按  
四

三  
三

